



栃木県立足利南高等学校 平成27年度 総合学科通信 第2号

No.42
(2015/12/11 発行)

1日体験学習

教頭 伏木 克行



平成27年8月5日、本校で、中学生とその保護者に対して、1日体験学習を実施しました。本校の教育内容・進路状況・特色等を説明し、本校がどのような学校であるかを理解してもらうことによって、中学生が進路選択するときの参考にしてもらうためです。

天候にも恵まれた当日、足利・佐野を中心とした35校から、中学生355名、保護者168名が参加してくれました。昨年に比べて中学生の参加人数は若干減りましたが、保護者の参加人数が増えました。保護者の本校への関心が年々高まっていることが伺えます。

最初に、第一体育館で全体会をしました。内容は総合学科紹介ビデオの視聴、教育課程や進路状況の説明、ホークスベリー高校派遣生徒の体験発表、ライフプランの発表、卒業生による課題研究発表等でした。中学生が暑い体育館の中でも皆、礼儀正しく真剣に聴いていることに感心しました。

次に、希望した中学生には体験授業を受けてもらいました。英会話、繊維作り、ヴァイオリンの初歩、陶器作り、黒みつ寒天づくり、名刺作りの6授業を体験してもらいました。毎年、好評なので受講できる人数を若干ですが、増やしました。中学生は一生懸命に受講していました。保護者もそれを近くで微笑ましく見学していました。

中学生にアンケートを実施したところ、学校・学科の教育上の特色や内容が「よく・だいたい理解できた」：98%、この1日体験学習が「大変参考になった」：82%という評価をもらいました。

また、「総合学科なので、将来目指したいことに集中して取り組みそうだ」「発表を聞いて一人一人が夢の実現に向けて活動していてとても良く感じた」「学校が生徒一人一人を大切にしていると感じた」「先輩方がすごく優しく感じてとても入りたくなった」「英検で上位の級を取り早く留学したい」「部活動の様子を見ることができて良かった」「朝、元気にあいさつをしてくれてうれしかった」等の感想がありました。

在校生の皆さんが、中学生とその保護者に対して準備の仕事、係の仕事、発表とそれぞれの立場で「おもてなし」の活動を立派に果たしたことが、中学生に好印象を与えたようです。



体験授業の様子

修学旅行を終えて

9月28日(月)～10月1日(木)まで沖縄修学旅行に行っていました。全員で参加し、全員で無事に帰ってくることができ、引率者としても大変ありがたく思っています。全ては保護者の方の大きな協力があったことでできた学習であったことを改めて思うところです。16・17歳の若い感性には、沖縄の様子がどのように映ったのでしょうか。「戦争は二度としてはいけない」や「この美しい自然を守らなければならない」などの様々な思いが事後指導の感想文にありました。生徒たちの社会人としての自立が遠くないことを思うと、今回の平和学習や自然学習の学びが、同級生から得た仲間としての楽しい思い出とともに、今後の私たちの社会において生きることを深く願います。是非ご家庭でも、平和や自然に対する話題をもっていただけたらありがたいです。

修学旅行で学んだこと

どのような4日間になるのか、期待で胸が一杯の中バスで空港に向かうところから始まった私たちの修学旅行は、今振り返ると誰もが「戻りたい」と思える最高の4日間となりました。

1日目飛行機から降り、沖縄の気温の高さに驚きながら向かった先は、ひめゆり資料館。献花をして平和を祈り、資料館で沖縄戦争を目の当たりにしました。夜に聴いた講師の方の戦争体験は、写真や映像で見るとはまた違う衝撃を受けました。2日目は海軍指令豪から始まり、その後平和記念碑を見に行きました。想像を遙かに超えた量の石碑があり、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さを実感することが出来ました。記念碑を後に向かった先は、国際通りです。ここではそれぞれが沖縄ならではの食べ物を味わったり、地元の方と触れ合ったりと、とても楽しい散策になりました。3日目はビーチ体験と美ら海水族館です。体験では沖縄の大自然に触れ友達と親交を深め、更に水族館では、たくさんの魚に圧倒され、深く記憶に残る1日となりました。

修学旅行を無事に終えることができて良かったです。いつか、振り返ったときに「戻りたい」と何年経っても思えるような、そんな4日間になっていたら良いです。



さまざまな体験をする生徒たち

2学年主任 野口 徳雄



2年5組 初谷 ほのか



平和講話を真剣に聞く生徒たち

第16回ハーフマラソン大会

保健体育科 長竹 康人

11月6日（金）第16回足利南高等学校ハーフマラソン大会が開催されました。今年度も天候に恵まれ、無事に実施することができました。

上位入賞は運動部に所属している生徒の活躍が目立ち、昨年度同様大会運営もスムーズにいき、制限時間より1時間以上も早く生徒全員がフィニッシュすることができました。途中、体調不良で棄権をする生徒が1名出てしまいましたが、大事には至らず504名の生徒が無事に完走しました。一人ひとりの生徒たちがそれぞれに充実感や達成感を味わったことと思います。

最後になりますが、PTA 会長をはじめ今年も多くの保護者の方々のお手伝いをいただき、大きな事故もなく無事に大会を成功させていただきましたことを心からお礼申し上げます。

また、大会結果は以下の通りとなっています。

【個人成績】

○男子の部○

完走者数：161名

順位	クラス	氏名	記録
1	2-3	植木 優太	1:22:10
2	1-4	齋藤 玲唯士	1:22:51
3	2-3	坂上 欣伸	1:25:46
4	2-4	斉藤 勇太	1:28:56
5	2-5	舘野 秀輔	1:30:50
6	3-3	飯島 亮	1:34:24
7	2-5	北間 康平	1:35:08
8	2-4	田中 山斗	1:35:11
9	3-5	岡 龍之介	1:36:12
10	1-2	川鍋 和哉	1:36:21

○女子の部○

完走者数：343名

順位	クラス	氏名	記録
1	2-5	初谷 ほのか	1:35:31
2	1-4	小林 瑠璃	1:38:22
3	2-3	森 日菜	1:39:12
4	2-5	小野寺 柚希	1:39:37
5	2-2	中島 沙和	1:40:19
6	2-2	篠田 真衣	1:41:57
7	3-2	佐々木 莉奈	1:42:30
8	1-1	岡崎 亜夢	1:44:45
9	2-5	加藤 唯	1:47:52
10	3-5	高野 真美	1:51:03

【総合成績】

総合順位	クラス	クラス平均タイム
1	2-2	2:50:04
2	1-4	2:53:17
3	2-5	2:59:07

出走人数： 504名 ※途中棄権も含む

出走率： 95.1%



渡良瀬川沿いを快走する生徒達

東京インドネシア共和国学校との交流会

交流会担当 伊勢 孝和

11月19日（木）に、昭和57年度から相互交流をしている東京インドネシア共和国学校（以下、インドネシア学校）の生徒35名、教職員5名の計40名をお迎えして、本校を会場に交流会を実施しました。今年度は、前回までの反省を踏まえ、両校にとってさらに有意義な交流会となるように、いくつかの新たな試みを行いました。

まず、学校行事として全職員、全生徒が何らかの形で関われるように日程を変更しました。通常授業は1時限目のみとし、2時限目に全体交流会を第一体育館で行いました。3時限目には、生徒会役員、ICE部員、ホークスバリー短期留学派遣団生徒、柔道部員・剣道部員を主体とした体験学習交流会を行い、両校の生徒同士の交流を深め、インドネシア学校の皆さんには日本の文化に触れていただきました。同じ時間帯に、本校の一般生徒には、各ホームルームにてインドネシアについての学習活動として、資料を読みながらインドネシアについての問に答えるワークシートに取り組んでももらいました。

インドネシア学校の窓口である山下薫様、本校の特別活動部長である渡邊先生に大いに助けられながら無事に交流会を終えることができたと思っております。次回、二年後に出迎える際には今回以上のおもてなしができるよう、反省事項を引き継いでいければと思っております。



学習交流会でのインドネシア学校の生徒との交流



インドネシア学校による孔雀の舞と武道披露



発行：栃木県立足利南高等学校

教務部広報係

TEL：0284-72-3119（事務室）

FAX：0284-73-2772

TEL：0284-72-3118（職員室）